

ぶらりしもすわ三角八丁！

取り組みに至る背景・事業の目的

- 下諏訪町内では、平成 16 年から地域の歴史文化資源などを活用し、町民や観光客に町内を歩いて楽しんでもらうイベント「ぶらりしもすわ三角八丁！」を年間 1～2 回開催をしてきた。「ぶらりしもすわ三角八丁！」では、あえて主催を持たず、町内各所で NPO、地域づくり団体、商店街、旅館組合や小中学校の児童生徒等がそれぞれ主体的なイベントを同時に開催し、集客効果、広告効果を高めている。
- 開始から 4 年が経過し、開催時期も 4 月と 11 月に定着してきたので、町外にも広く PR し、主体的な参加団体数の増加、訪れる観光客数の増加を図り、中心市街地の活性化を目指す。

事業内容

- 平成 20 年 2 月 15 日の企画会議から始まり、平成 21 年 1 月 27 日の反省会に至るまで、参加団体と町が緊密な連携をとりながらイベント内容の検討、スタンプラリーの台紙を兼ねたチラシの作成を行った。
- 平成 20 年度は 4 月 20 日(日)「其の拾」、11 月 2 日(日)「其の拾壺」の 2 回を開催し、スタンプラリー等各種イベントにより大勢の参加者で賑わった。



【三角八丁の様子】

事業効果

- 来場者数 約 9,000 人(内スタンプラリー参加者 1,797 人)
- 参画団体数 23 団体 (4 月 20 日)、27 団体 (11 月 2 日)
- 10 回開催記念イベント(豚の丸焼き)、「うまいもん市」の同時開催により予想以上の来場者があり、終日賑わいを創出できた。
- 参加団体も徐々に増えてきており、地区、町内会、学校、商店街単位などでの、まちづくりへの参加のきっかけとなり、各団体では、このイベントでの成功体験が地域活性化のための活動へと結びつくことが期待できる。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 今回で 11 回目の開催となり、歩いて楽しいイベントとして定着してきているものの、マンネリ化の懸念もあり、今後新鮮で興味深い企画作りが必要となってくる。
- さらに多くの団体に参加をいただきながら、地元団体が主体となった地域参加型イベントとして、地域活性化に繋げ、将来的には全国に発信できるようなイベントに発展させていく。

【選定のポイント】

参加団体も増加してきており、このイベントへの参加が契機となり、それぞれの団体が地域活性化、まちづくりへ参加するきっかけとなっている。

団体名	下諏訪町	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	下諏訪町総務課企画係	事業費	320,000円
	電話 0266-27-1111	支援金額	320,000円